

# 入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 8 年 6 月 2 9 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所管理部門神栖拠点長事務取扱 山本 潤

## 1. 工 事 概 要

- (1) 工 事 名 球面波水槽電動台車不具合箇所修繕工事
- (2) 工 事 場 所 入札説明書による。
- (3) 工 事 内 容 入札説明書による。
- (4) 履 行 期 限 令和 9 年 2 月 1 9 日
- (5) 入 札 方 法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 2. 競 争 参 加 資 格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和7・8年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は農林水産省大臣官房予算課競争参加資格の「建築工事契約」の業種「機械器具設置工事」で「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から建設工事契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。  
ただし、農林水産省大臣官房予算課競争参加資格に格付けされている者である場合は、農林水産省大臣官房予算課の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

## 3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。

- ① 直接交付  
茨城県神栖市波崎7620-7  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所管理部門神栖拠点管理チーム  
電 話 0479-44-5932  
F A X 0479-44-1875
- ② 宅配便着払いによる交付  
任意書式に「神栖庁舎球面波水槽電動台車不具合箇所修繕工事入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。
- ③ メールによる交付  
任意書式に「球面波水槽電動台車不具合箇所修繕工事入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

## 4. 入 札 説 明 会 の 日 時 及 び 場 所 等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和8年7月9日までに上記3.あてにメール（アドレスは入札説明書に記載）又はファックスにて質疑を行うこと。当日まで

の質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に対して行うとともに当該機構のホームページにて公表することにより入札説明会に代える。なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。ただし、質疑内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

## 6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所  
令和 8 年 7 月 21 日 14 時 00 分  
茨城県神栖市波崎 7620-7  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
神栖庁舎 研究本館 1 階会議室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所  
令和 8 年 7 月 21 日 12 時 00 分  
3. ①に同じ。

## 7. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨  
日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金  
免除。
- (3) 契約保証金  
契約金額の10分の1以上の契約保証金を納付する。ただし、履行保証保険契約又は工事履行保証契約の締結を行う場合はこの限りではない。
- (4) 入札の無効  
本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (5) 契約書作成の要否  
要。
- (6) 落札者の決定方法  
予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないうおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。
- (7) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は農林水産省大臣官房予算課の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (8) 詳細は入札説明書による。

## 8. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先  
次の①及び②いずれにも該当する契約先
- ① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等<sup>※注1</sup>として再就職していること
- ② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること<sup>※注2</sup>
- なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
- ※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。
- ※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報  
上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契

- 約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
- ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
  - ② 当機構との間の取引高
  - ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨  
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
  - ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。

なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

## 9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：[https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge\\_requestnote\\_contract2.pdf](https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge_requestnote_contract2.pdf)）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

# 工 事 仕 様 書

1. 件 名 球面波水槽電動台車不具合箇所修繕工事
2. 業務目的 測器電子機器実験棟球面波水槽室に設置している電動台車は、魚のターゲットストレングス測定や水中音響機器の基本的な較正パラメータ取得などで使用しているが、使用中に回転ができないという不具合が報告された。昨年度作成された、不具合箇所の特定ならびに改善案に基づき修繕を行うことを目的とする。
3. 工事場所 茨城県神栖市波崎7620-7  
国立研究開発法人水産研究・教育機構 神栖庁舎 測器電子機器実験棟
4. 工事期限 令和9年 2月19日（金）
5. 一般事項 図面及び特記仕様に記載されていない事項については、すべて下記仕様書等によるものとする。
- ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事共通仕様書
  - ・ // 電気設備工事共通仕様書
  - ・ // 機械設備工事共通仕様書
  - ・ // 建築改修工事共通仕様書
  - ・ // 電気設備改修工事共通仕様書
  - ・ // 機械設備改修工事共通仕様書
  - ・ // 建築工事標準詳細図
  - ・ // 電気設備工事標準図
  - ・ // 機械設備工事標準図
6. 工事内容 図1に示す測器電子機器実験棟内の球面波水槽室に設置された電動台車について、下記の不具合箇所の修繕を行うこと。また、作業後は試運転を実施し、正常動作を確認すること。また、修繕報告書を提出すること。
- (1) 修繕前の外観点検
  - (2) 走行、横行、回転の3軸について、サーボモーター及びモータードライバ、プログラマブルロジックコントローラ(PLC)の交換。サーボモーター (1.8 kW×1, 0.75 kW×2) 及びモータードライバ (2

kW×1, 0.75 kW×2) は機構が支給する。図2-4に使用しているサーボモーターを示す。また、図5、6にモータードライバー、プログラマブルロジックコントローラ(PLC)を示す。

図1 別紙

図2 現在の走行用サーボモーター①



図3 現在の横行用サーボモーター②



図4 現在の旋回用サーボモーター③

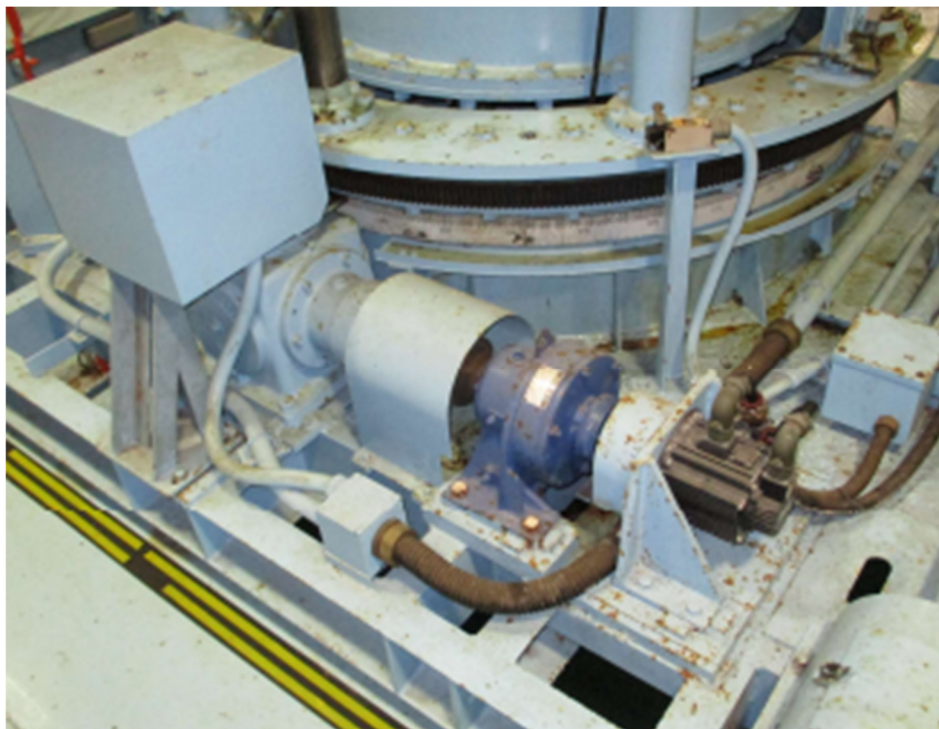


図5 使用中のモータードライバー（移動台車上の制御盤④の中に設置）  
（3）制御盤内PLCの交換とプログラム更新。PLC関連機器（PLC×1、PLC用タッチパネル×1）は機構が支給する



図6 使用中のPLC（移動台車上の制御盤④の中に設置）

(4) 制御盤の更新

図7, 8に示す移動台車上の制御盤の更新と配線及び制御処理室の制御盤の撤去。制御盤内に結露防止策を講じること。また、これまでと同様にPCからの遠隔制御を可能にすること。



図7 使用中の球面波水槽室内の移動台車上の制御盤④



図8 使用中の制御処理室の制御盤



図9 リミットスイッチ。赤実線は昇降用 (2)、黒実線は回転用 (2) (5) 全リミットスイッチの交換

電動台車に取り付けてある8個のリミットスイッチを新しいものに更新すること。型番 WL CA2-2N (オムロン) ×8個

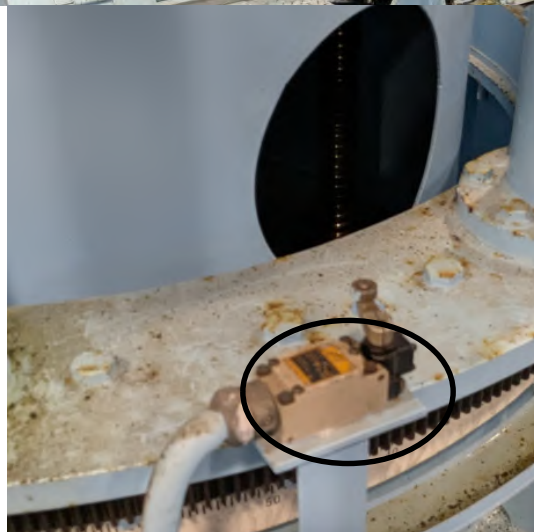


図10 横行用リミットスイッチ(左右それぞれ1個)



図11 走行用リミットスイッチ(前後それぞれ1個)



(6) 赤色回転灯の交換(⑤、2箇所)

電動台車に取り付けてある2個の赤色灯 (図9、2つのうちの1つ) を新しいものに更新すること。型番：ACA-100SR (Proface) ×2個



図9 電動台車上の赤色回転灯 (2箇所)

7. その他 改修前の機能と精度を有していること。今後のPLC交換、更新等に備え、接続図、プログラム言語 (バージョン)、コマンドなど、必要な情報を電磁媒体で引き渡すこと。詳細については担当職員の指示に従うこと。